

家族が新型コロナに感染した時に注意したいこと

① 部屋を分ける

感染した人が生活する部屋は個室にしましょう。部屋を分けられない場合は、2m以上の距離を保ったり仕切りやカーテンの設置などをおすすめします。



② 窓を開けて換気

部屋を定期的に換気しましょう。共用スペースや他の部屋も窓を開けたままにするなど換気しましょう。



③ マスクを着用

感染した人も家族も不織布マスクを着用しましょう。外すときは表面に触れないようにひも部分を持ち、外した後は手洗いをしましょう。



④ こまめな手洗い 手で触れる部分を消毒

こまめにせっけんで手洗いし、アルコール消毒をしましょう。ドアの取っ手、ベッド柵、トイレ、洗面台など共用部分を消毒しましょう。



⑤ 洗濯時は手袋とマスク

感染した人が使用したタオル、シーツ、衣服を洗濯するときは、手袋とマスクを着用しましょう。洗剤は一般的な家庭用のもので構いません。



⑥ ゴミは密閉して捨てましょう

感染した人の鼻水が付いたティッシュなどは、すぐにビニール袋に入れ、密閉して捨ててください。ゴミを触った人は手洗いも忘れずに。



感染したお子さんの観察ポイント

機嫌、食欲、顔色、呼吸の様子などを観察してください。

- 意識がはっきりしない
- 機嫌が悪い
- 水分がとれない
- 息苦しそう
- 食欲低下
- 顔色が悪い
- 嘔吐を繰り返す

などの場合は、保健所またはかかりつけ医に早めにご相談ください。

5歳から11歳のワクチン接種が始まっています

特に慢性呼吸器疾患などの重症化リスクの高い基礎疾患を有するお子様には接種をお勧めしています。

接種にあたっては、あらかじめかかりつけ医などとよく相談してください。



長崎大学森内浩幸教授による解説

問合せ 県の感染症対策室 ☎095-894-3195

症状が出たら

- 発熱や咳などの風邪の症状が出たときは、人との接触を避け出勤や登校を控えましょう。
 - かかりつけ医や県のウェブサイトに掲載している発熱患者に対応可能な「診療・検査医療機関」へ電話で相談しましょう。相談する医療機関に迷う方は、長崎県受診相談センターへお電話ください。
- ※P14に詳しい情報を掲載しています

特集

SPECIAL ISSUE

新型コロナの感染拡大を防ごう

新型コロナ感染者は、これまで人の移動が大幅に増える時期に大きく拡大しています。昨年も4月から5月にかけてのゴールデンウィーク前後に感染が大きく拡大したことから、これからの時期は特に注意が必要です。感染拡大や医療、経済への影響を最小限にとどめるためにも、基本的な感染防止対策の徹底やワクチン接種へのご協力をお願いします。

基本的な感染防止対策を継続しましょう

- ☑ 県外の移動先でのリスクが高い行動は避け、「うつらない」「うつさない」行動を心掛けましょう
- ☑ 会食の際は、ながさきコロナ対策飲食店を利用し、密にならない工夫やマスク会食などを徹底しましょう
- ☑ 高齢者や基礎疾患のある方と同居されている方は、会話をする際にはマスクを着用しましょう

※感染状況により、内容は随時変更されます



長崎県 新型コロナ 検索

ながさきコロナ対策飲食店

「チームナガサキセーフティ」は、県が官民一体のチームで取り組む認証制度です。

ガイドラインに沿った衛生活動を行い、安全・安心な利用ができる飲食店を認証しており、認証後も定期的な審査を行っています。



ステッカーが目印です

問合せ ながさきコロナ対策飲食店認証実行委員会 ☎0570-550-388

チームナガサキセーフティ 検索

不織布マスクの効果

不織布マスクの着用で、オミクロン株の感染リスクを大幅に低減できることが報告されています。

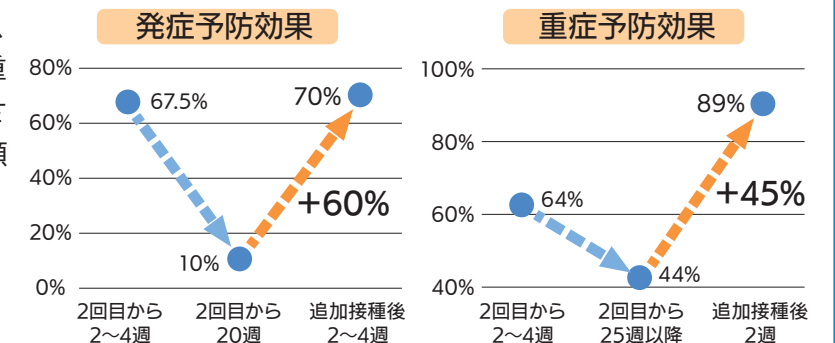
感染者と対面で15分間会話した場合の感染確率

感染者のマスク有無	感染者との距離 0.5m	感染者との距離 1m
マスクなし	ほぼ100%	約60%
不織布マスクあり	5%以下	ほぼリスクなし

スーパーコンピューター「富岳」によるシミュレーション

ワクチン追加接種のオミクロン株に対する効果

3回目のワクチン追加接種により、オミクロン株の発症予防効果・重症予防効果が大きく回復するとされています。積極的な接種をお願いします。



※厚生労働省 予防接種・ワクチン分科会資料から引用